

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392000044
事業所名	グループホーム 喜寿苑

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 自治会に加入し地域情報を得ながら、自治会と共同で子どもや地域の見守りを行ったり、小中学校の運動会へ参加をしたり、草取りや盆踊り、祭礼に参加するなど積極的に地域との交流を図っている。力士の慰問、踊りや楽器演奏、小・中・高校生のボランティアの受け入れや、保育園児との交流もしている。事業所の認知症カフェ「ぬくといカフェ」や地域の「前芝サロン」なども自治会や民生委員などと協力をし、定期的に継続して開催し、地域の一員として交流を深めている。今年度は、地域の子どもの居場所作りとして「エミツ子ひろば」を開催し、地域の小学生が大勢訪れ入居者との触れ合いを楽しんでいる。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 家族や正副自治会、老人会長、民生委員、包括支援センターや市担当職員の参加を得て2か月に1回開催している。参加者から、防災などについて地域との連携や協力体制、行事や催し物など地域との関わりについて積極的な発言があり、意見は検討して運営に有効に活かしている。家族には、毎回会議案内や議事録を配布している。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 認定の変更や更新手続き等を通して市の担当者とは気軽に話し合える関係が構築されており、困難事例の相談をしたり助言なども受けている。研修にはできる限り参加しており、グループホーム連絡協議会でも活動を行っている。市役所で開催される「グループホーム合同作品展」へ入居者が作成した作品を出展し、作品展を見に行く機会もある。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者からは日々のケアの中で、家族からは面会や行事時に意見や要望などを積極的に聞くようにしている。意見箱の設置や、ケアの内容や職員の接遇などについて、毎年家族にアンケート調査を実施し、結果内容を検討し運営に反映している。法人や事業所のおたよりは家族に情報提供と共に安心感を届けている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	